

2. 調査団構成及び調査日程

2. 1 調査団構成

土木学会東北関東大震災被害調査団の構成は表 2.1-1 に示すとおりである。

表2.1-1 土木学会東北関東大震災被害調査団構成 (地震工学委員会)

	氏名	所属, 連絡先	班
団 長	川島 一彦	東京工業大学大学院理工学研究科	構造物
副団長	若松 加寿江	関東学院大学工学部社会環境システム学科	地盤
団 員	西岡 勉	神高速道路(株) 大阪管理部 保全技術課	構造物
団 員	古賀裕久	独立行政法人 土木研究所	構造物
団 員	高橋 良和	京都大学防災研究所地震災害研究部門	構造物
団 員	渡邊 学歩	山口大学大学院理工学研究科	構造物
団 員	松崎 裕	東京工業大学大学院理工学研究科	構造物
団 員	秋山 充良	早稲田大学理工学部社会環境工学科	構造物
団 員	東畑 郁生	東京大学工学部社会基盤学科	地盤
団 員	安田 進	東京電機大学理工学部建築・都市環境学系	地盤
団 員	清田 隆	東京大学生産技術研究所 基礎系部門	地盤
団 員	後藤 浩之	京都大学防災研究所地震災害研究部門	地盤
団 員	吉田 望	東北学院大学工学部 環境建設工学科	地盤

2. 2 調査日程

1) 構造グループ

3月29日(火) 東京→大郷町(レンタカー), 大郷町泊

仙台到着後, 国土交通省東北地方整備局において, 局長, 道路部長, 道路保全企画官, 企画課長と打合せ. 宿泊地「縁の郷」到着. 高橋先生, 秋山先生と合流.

3月30日(水) 大郷町→仙台市→大郷町, 大郷町泊

仙台東部道路仙台東IC前の高架橋, 仙台東部道路, 千代大橋, 関上大橋, 東北新幹線南長町高架橋, 中長町高架橋, 岩切高架橋, 城前橋, 宝堰橋調査

3月31日(木) 大郷町→七ヶ浜町→東松島市→石巻市→大郷町, 大郷町泊

葦森橋, 橋本橋, 東松島橋, 鳴瀬大橋, 鳴瀬川橋梁及び小野浜市架道橋, 新不動橋, 松ヶ島橋,

定川大橋，日和河口橋，開北橋，天王橋，新天王橋，飯野川橋，新北上川橋調査

4月1日(金) 大郷町→石巻市→南三陸町→気仙沼市→登米市→大郷町，大郷町泊

新北上大橋の再調査，折立橋，横津橋及びその上流の4橋，水尻橋，鉄道橋，道路橋(45号線，南三陸町)，港橋，清川橋，しずはし，歩道橋，鉄道橋，歌津大橋，二十一浜橋，外尾川橋，下宿橋，そでおがわ橋，小泉大橋，JR気仙沼線落橋の調査

4月2日(土) 大郷町→大和IC→(東北道)→水沢IC→県道343号線→陸前高田市，大郷町泊

明神橋，奈々切跨線橋，気仙大橋，姉齒橋，しおさい橋，川原川橋，古川橋，沼田跨線橋，商人橋調査

4月3日(日) 帰京

2) 地盤グループ

3月27日(日) 東京→白石市調査→仙台→多賀城市(レンタカー) 仙台泊

白石市調査，仙台到着後，多賀城市の東北学院大学で吉田先生と合流。

夕刻：吉田先生と合流，仙台泊

3月28日(月) 仙台市→名取市→仙台市，仙台泊

名取市相互台，仙台市太白区緑ヶ丘，仙台市泉区北中山，仙台市青葉区桜ヶ丘，仙台市泉区旭が丘，仙台市泉区鶴ヶ谷，苦竹・長町の軟弱地盤を調査

3月29日(火) 仙台市→名取市→大崎市→栗原市築館泊

名取川堤防，鳴瀬川堤防，大崎市の地盤変状調査

3月30日(水) 栗原市築館→大崎市→美里町→涌谷町→石巻市→東松島市，大郷町泊

築館の過去の崩壊地，江合川堤防，旧北上川堤防，石巻市軟弱地盤，鳴瀬川下流堤防調査

3月31日(木) 大郷町→松島町→多賀城市→仙台市青葉区→帰京

吉田川堤防，鳴瀬川堤防，仙台市青葉区折立・西花苑調査